

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	eravu名塩		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 9日		～ 2026年 1月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 26日		～ 2025年 12月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の相談に対してすぐに対応できている。	ヒアリングの際にご家庭での様子や困り事も必ず聞くようにしている。送迎の際に、保護者の方からお話を聞くこともある。児童発達支援管理責任者だけでなく、支援員も保護者への対応を意識して行っている。	支援計画や保護者のニーズに基づいた報告を日々行う
2	ご利用者が満足できるような支援を提供できている	保護者のニーズも取り入れたプログラムを実施している。毎週異なった新しいプログラムを実施している。	庭の整備を進め、安全で楽しく遊べる庭を作る 学習に関しても小学生と中学生で目標を分け、計画的に支援を実施する
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援計画、モニタリングなどの書類の提出が遅れている	職員の役割分担の偏り 業務の優先順位	職員の役割分担の改善 書類提出の期日を明確にする。
2	地域のお子さんや児童館との交流がない	これまで利用していた公園には地域のお子さんが利用していなかった 指導員や児発管に社会資源を利用する発想がなかった	普段利用する公園を変更したことで、地域のお子さんとの交流ができてきている。 児童館などを利用する療育プログラムを検討してみる
3	非常時等の対応についての周知不足	保護者の見える場所に非常時等の対応に関する資料を置いていないが、その場所を周知していない	場所の周知 避難訓練の実施予定や報告をインスタやHP等で行う